

福祉サービス事業所の経営者と管理者のみなさまへ

# 月次決算を活用した経営状況の把握 ～安定したサービス提供のために～



**練馬区福祉部指導検査担当課**

福祉サービスは、多くの利用者そしてそのご家族の生活を支える重要な役割を果たしています。



その分、サービス提供ができなくなってしまった場合の影響は非常に大きいものとなります。

# 【練馬区で実際に起きた事例】

障害児の通所サービス事業所

**CLOSED**



事業所閉鎖  
のお知らせ



【練馬区で実際に起きた事例】 ※事業所閉鎖の原因

財務状況の悪化 → 給与未払い → 職員の大量退職



毎月収支を確認していれば  
防ぐことができたのでは？

**そこで質問です。  
みなさんは毎月収支の状況を  
きちんと確認していますか？**

**年次決算・・・期末に行う決算**

**月次決算・・・1か月ごとに行う決算**

**月次報告・・・月次決算等をもとに行う報告**

**【例】会計年度が4月1日～3月31日の場合の月次決算のスケジュール**

5月1日～10日で4月分を決算整理

6月1日～10日で5月分を決算整理

7月1日～10日で6月分を決算整理

8月1日～10日で7月分を決算整理

・  
・  
・

5月15日頃に4月分を月次報告

6月15日頃に4～5月分を月次報告

7月15日頃に4～6月分を月次報告

8月15日頃に4～7月分を月次報告

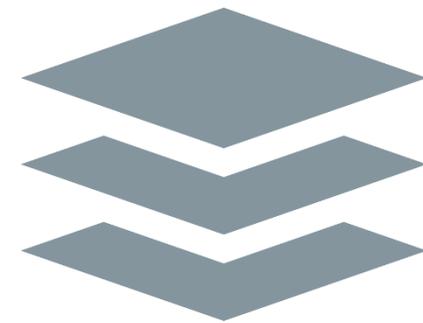
・  
・  
・

# 月次決算を行うメリット

① 経営状況の早期把握  
～問題の早期発見・早期改善～



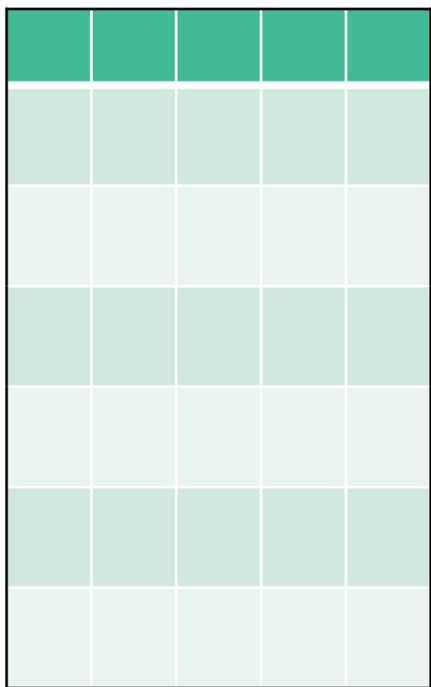
② 年次決算の負担軽減  
～決算書の精度UP～



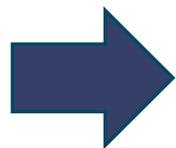
# 月次決算でご作成いただきたい「収支計算書」

収支計算書 …… 特定の期間の収支をまとめたもの

〇〇事業所 収支計算書

A stylized icon of an Excel spreadsheet with a grid of cells. The top row is highlighted in a darker green, and the rest of the grid is a lighter green.

Excelを基に



グラフ等で  
可視化する  
ことも有効

【収支計算書】 2024年4月1日～2024年6月30日の3か月分

勘定科目	予算 (A)	決算 (B)	差額 (A-B)	執行率
«収入計 (C) »	150	37.5	120	25%
施設介護料収入	120	30	22.5	25%
利用者等利用料収入	30	7.5	22.5	25%
«支出計 (D) »	120	40	80	33.3%
人件費支出	40	10		25%
事業費支出	40	10		25%
事務費支出	40	20		50%
<b>«収支差額 (C-D) »</b>	<b>30</b>	<b>△2.5</b>	—	—
«繰越額»	30	△2.5	—	—

**赤字状態**

【収支計算書】 2024年4月1日～2024年6月30日の3か月分

執行率…予算額に対し、実際に執行した額の割合

勘定科目	予算 (A)	決算 (B)	差額 (A-B)	執行率 (B÷A×100)%
≪収入計 (C) ≫	150	37.5	120	25%
施設介護料収入	120	30		25%
利用者等利用料収入	30	7.5		25%
≪支出計 (D) ≫	120	40	80	33.3%
人件費支出	40	10	30	25%
事業費支出	40	10		25%
事務費支出	40	20		50%
≪収支差額 (C-D) ≫	30	△2.5		—
≪繰越額≫	30	△2.5	—	—

見込みどおり

見込みを超過している状態

【収支計算書】 2024年4月1日～2024年6月30日の3か月分

勘定科目	予算 (A)	決算 (B)	差額 (A-B)	執行率
《収入計 (C) 》	150	150	0	100%
施設介護料収入	120	120	0	100%
利用者等利用料収入	30	30	0	100%
《支出計 (D) 》	120	80	40	66.7%
<b>人件費支出</b>	<b>40</b>	<b>10</b>	<b>30</b>	<b>25%</b>
<b>事業費支出</b>	<b>40</b>	<b>10</b>	<b>30</b>	<b>25%</b>
<b>事務費支出</b>	<b>40</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>50%</b>
《収支差額 (C-D) 》	30	△2.5	—	—
《繰越額》	30	△2.5	—	—

**3か月经過時点で  
6か月分の支出**

**50%**

〇〇株式会社 A事業所

【収支計算書】 2024年4月1日～2024年6月30日の3か月分

見込みどおり

勘定科目	予算 (A)	決算 (B)	差額 (A-B)	行率
事務費支出	40	20	20	50%
福利厚生費支出	10	0.8	9.2	24%
会議費支出	10	0.8	9.2	24%
事務消耗品費支出	10	0.8	9.2	24%
業務委託費支出	10	17.6	△7.6	52.8%

見込みを  
大幅に超過  
⇒赤字の原因

# 事業費

## 【参考】支出の増加が赤字の原因である場合

### 委託費



### 人件費



etc...

# 【参考】収入の低迷が赤字の原因である場合



ご視聴いただき、ありがとうございました。

動画の内容でご不明な点は社会福祉法人係へ、  
各事業に関する相談については事業所管部署へ、  
お問い合わせください。

【住 所】〒176-8501 練馬区豊玉北6-12-1

練馬区福祉部指導検査担当課社会福祉法人係

【電 話】03-5984-1318（直通）

【メール】TIKIFUKUSHI11@city.nerima.tokyo.jp